

令和 3 年 10 月 27 日

## 令和 4 年度保険料率に関する評議会での意見（長崎支部）

（令和 3 年 10 月 20 日開催 長崎支部評議会）

### 【評議会の意見】

- 平均保険料率については 10%維持

### 【評議員の個別意見】

#### （学識経験者）

- 学識経験者という立場ではあるが、事業者の立場から話をすると 0.1%でも下がるとありがたい。ただし高齢化の問題等、医療費が上がってくることはわかっているため、10%を維持してほしい。また今後の状況を想定すると、10%以上となっても仕方ないと思う。
- コロナ禍で中小企業が軒並み影響を受けている中、準備金残高が 4 兆円を超えてきているので、来年度に限っては引き下げの選択肢もあると思う。一方で、中長期的に考えたいという協会の方針があり、収支見直しを見ると協会の財政も厳しくなるのがわかる。大事なことはできるだけ長く、保険料率 10%を維持していくこと。苦渋の決断ではあるが、来年度も 10%維持がよいと考える。

#### （事業主代表）

- 10%をできるだけ長く維持した方がよい。保険料率が下がるに越したことはないが、下がった後に上がるなど、変動することもマイナス要因になる。安定した状態が前提だと色々な計画が立てやすくなるので、その意味でも 10%維持がよい。
- 事業主側からすると、保険料率が下がるのはありがたいが、10%で今まかなえているので、現状維持でよい。また、今後保険料率が上がるとしても、数年後急激にあがるより、10%を維持しつつ緩やかにあがる方がよい。

#### （被保険者代表）

- 被保険者としては、保険料率が少しでも下がってくれたらと思うが、今後のシミュレーションを見ると中長期的に 10%を維持するのが大事だとわかる。ただ、中長期的にみるということを被保険者に説明することは必要である。
- 被保険者代表として、労働者の立場で言えば、保険料率を下げていただきたいという気持ちがある。しかし、協会けんぽの現状を守っていくことを考えると 10%維持を支持する。